

トライアングル事業に係る窓口参考説明
<チェックリスト：国保連合会特定健診振替ツールパターン>

- 国保連合会特定健診振替ツールから抽出した特定健診振替対象者を確認する。
- 対象者の患者さんが来院した際に、必ず特定健診受診券を確認し、未受診であれば、特定健診の受診勧奨を行う。

受診勧奨の仕方（例）：

特定健診を受診されていないようですが、来る3月までに特定健診を受診されるご予定はありますか？

- 予定ありの場合：以上です。通常診療を行って下さい。
- 予定なしの場合：以下に続きます。

- 患者様に特定健診振替の取り組みについて説明し、確認を得る。

説明の仕方（例）：

市町村は、県民の健康増進の為に、様々な保健事業を展開しており、その一環として県民の特定健診データを集積しております。当院では、患者様の確認を取った上で、患者様がこれまでに当院で受けた検査結果を特定健診として市町村へ報告する取り組みを行っています。

〇〇さんは、問診と身体測定をさせていただければ、特定健診の項目を全て満たしますので、市町村への報告が可能となります。

もしよろしければ、ご協力いただけないでしょうか。

- ご協力いただけない場合：以上です。通常診療を行って下さい。
- ご協力いただける場合：以下につづきます。

- 同意欄へフルネームでサインをいただき、問診票へ必要事項をご記入いただく。
- 特定健診に不足している項目を実施する。
- 当日行った不足項目及び通院中に実施した検査項目を特定健診情報提供票へ記入する。
- 取り組み終了後、特定健診受診券に必ず受診済の記入を行う。
- 特定健康診査情報提供票と問診票に基づき、国保連合会特定健診振替ツールへ項目を打ち込み、国保連合会へ提出する。